

\*編集責任:財団法人たんぼぼの家

## 播磨靖夫 プロフィール



### 1.略歴

1942 年生まれ、兵庫県宝塚市出身

1964 年 04 月 毎日新聞社 記者

1974 年 01 月 フリージャーナリスト

1980 年 05 月 財団法人たんぼぼの家 理事長(～現在)

1987 年 07 月 社会福祉法人わたぼうしの会 理事長(～現在)

1994 年 06 月 日本障害者芸術文化協会(エイブル・アート・ジャパン)常務理事(～2011年3月) 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン理事 (2011年4月～現在)

1996 年 11 月 日本 NPO センター 代表理事(～1999年6月)

1999 年 06 月 特定非営利活動法人日本 NPO センター 副代表理事(2004年6月)

2004 年 6 月 同 代表理事(～2008年6月)

2008 年 6 月 同 理事(～2012年6月)

2012 年 6 月 同 顧問 (～現在)

1999 年 12 月 日本ボランティア学会 副代表(～現在)

2000 年 09 月 芸術とヘルスケア協会 代表理事(～2006年3月)

2006 年 03 月 アートミーツケア学会 常務理事(～現在)

## 2.プロデューサーとして提唱・実施してきたおもな事業

[アート]と[ケア]の視点から、多彩なプロジェクトを提唱・実施。ソーシャル・インクルージョンをテーマに、アートの社会的意義や市民文化について問いかける事業を实践。国内外の団体とネットワーク型の文化運動を展開し、より公共性の高い仕事に取り組むことをミッションとしています。市民活動としてのスタイルを貫き、活動を支える人材育成にも取り組みつづけています。

### (1)エイブル・アート・ムーブメント

アートと社会の新しい関係をつくる ABLE ART MOVEMENT[可能性の芸術運動]を1995年に提唱し、市民の文化力を高める運動を広げてきました。芸術の社会化、社会の芸術化をめざし、展覧会やワークショップ、エイブルアート・カンパニー、「アート化」セミナー、インクルーシブデザイン、あなたのまちの世間遺産を探そう!などに取り組んでいます。

◎関連するウェブサイト

エイブル・アート・ムーブメント <http://popo.or.jp/ableart/>

たんぽぽの家 <http://popo.or.jp/hana/>

エイブル・アート・ジャパン <http://www.ableart.org/>

エイブルアート・カンパニー <http://www.ableartcom.jp/>

### (2)わたぼうしプロジェクト

歌は心と心の架け橋。障害のある人の綴った詩をメロディにのせてみんなで歌う「わたぼうし」。1976年より、全国各地で「わたぼうしコンサート」と、毎年夏「わたぼうし音楽祭」を開催しています。1991年からは2年に一度、「アジア・太平洋わたぼうし音楽祭」を展開し、国内外に共感の輪が広がっています。

◎関連するウェブサイト [http://popo.or.jp/wataboshi\\_project/](http://popo.or.jp/wataboshi_project/)



### (3)ケアする人のケア研究所

他者への気づかいや支えあいを大切にできる社会[ケアリング・ソサエティ]をつくるために、1999年から市民研究として「ケアする人のケア」に取り組み、2002年に「ケアする人のケア研究所」を設立しました。セミナーの開催、介護情報誌の発行も行っています。

◎関連するウェブサイト

<http://popo.or.jp/carecare/>

### (4)アートミーツケア学会

1996年より、アートとケアをキーワードにつなぐりの回復をめざす「芸術とヘルスケア」プロジェクトを始動、2006年には「アートミーツケア学会」を設立。設立以来、学会事務局を担当しています。

◎関連するウェブサイト

<http://artmeetscare.seesaa.net/>

### (5)日本ボランティア学会

1998年より、「ボランティアの魂と社会を洞察する知と実践する力を養い、人間の声に充ちた共生社会を立ち上げるため」に日本ボランティア学会を設立。

◎関連するウェブサイト

<http://popo.or.jp/vgakkai/>

### (6)社会福祉法人わたぼうしの会

障害のある人、子どもや高齢の人などが安心して地域のなかで生きていくことを支えるために[アート・ケア・ライフ]という視点を柱にした社会福祉サービスを提供しています。アートを[仕事]にする日中活動・就労支援と、相談支援・生活支援、福祉ホーム、配食サービスなどを運営しています。

◎関連するウェブサイト

<http://popo.or.jp/wataboshi/>

### 3.活動に関連する受賞歴

- (1)2010年 「平成 21 年度芸術選奨文部科学大臣賞」 受賞
- (2)2009年 「エイブルアート・オンステージ」の実施で明治安田生命さんがメセナ協議会「メセナアワード 2009」の「ベスト・コラボレーション賞」受賞(播磨はプログラムビルディングに関与)
- (3)2005年 「ひと・アート・まち」の実施で近畿労働金庫さんが 2005 年度「メセナアワード 2005」の「文化庁長官賞」受賞(播磨はプログラムビルディングに関与)
- (4)2004年 上海市障害者連合会との 25 年にわたる文化交流の功績により、上海市政府より播磨靖夫が「白玉蘭記念賞」受賞
- (5)2001年 「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施でトヨタ自動車さんが 2001 年度「メセナ大賞」の「バリアフリー賞」受賞(播磨はプログラムビルディングに関与)
- (6)1994年 奈良たんぼぼの会が「第 28 回吉川英治文化賞」受賞
- (7)1994年 財団法人たんぼぼの家が国際交流基金「地域交流振興賞」受賞
- (8)1985年 「歌うボランティアわたぼうし」が「毎日社会福祉顕彰特別賞・国際青年年賞」受賞
- (9)1980年 奈良たんぼぼの会が「第 10 回毎日社会福祉顕彰」受賞

## 4.活動に関連する文献等

### (1)「生きるための試行 エイブル・アートの実験」



エイブル・ア  
ート・ジャパン+フィ  
ルムアート社編

B5判変型 160ページ

エイブル・アートの活動のなかから、2004年から2008年の5年間にわたって試行／実験された舞台芸術である「エイブルアート・オンステージ」を再検証し、境界のないインクルーシブ(多様性を包摂する)な未来世界を描く。障害／健常、病気／健康、目に見えないもの／見えるもの、私たちは、境界線のある世界に生きている。エイブル・アートは、この境界線そのものに問いかけ、演劇、ダンス、音楽などをさまざまな表現を使いながら、障害／健常の境界を乗り越えようとする「可能性の芸術」。

### (2)「文化政策と CCD セミナー 持続可能な文化発展」(講演録)

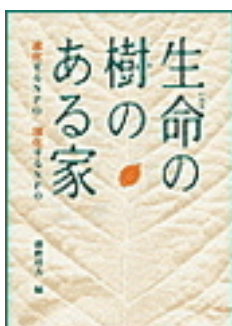


A5判 132ページ

2009年8月発行

社会的に弱い立場にある人たちの社会参加や、多様なコミュニティの共存が課題となっているなかで、アートのが着目されている。本書は、オーストラリアの CCD(コミュニティの文化的発展)に関する政策や、コミュニティ・アートの旬な事例を紹介した同セミナー(全国6都市を巡回)の記録集。社会とアートの関わりについて考えていただくための一冊。

### (3)「生命の樹のある家 進化する NPO、深化する NPO」 播磨靖夫 編著



財団法人たんぼぼの家の25年の活動の軌跡を追いながら、市民として世界の何を痛みとし、世界の何を願いとしてきたか、そして一人ひとりの願いが社会を変えていく力になっていくダイナミズムを収録。これからの新しい社会をつくる市民一人ひとりが、「人間が幸福になる」という願望をそれぞれ胸に抱きつつ、新しい社会意識、価値観、文化をつくっていくヒントとなればと願い編集された。

B6判 331 ページ 2003 年 9 月発行

#### (4) 「アクセスアーツ 2007 障害のある人の芸術文化ガイド」



誰でもアートにアクセスするには？アートで社会にアクセスするには？アート活動に参加してみたいと考える障害のある人、それを支える環境をつくりたいと考える人たちのための芸術文化ガイド。アトリエやギャラリー、舞台芸術団体、美術館やホールなどの情報 106 件を収載。



A5判 134 ページ

2007 年発行

#### (5) 「ABLE ART 魂の芸術家たちの現在(いま)」



自己の癒しを超えて他者の癒しとなったときに「魂の芸術家」たちのアートに可能性が生まれてくる。障害者芸術という概念を超えて生命をおりなし、見るものとの対話を生みだす 12 の団体と個人の作品を収録。

A4判 56 ページ

1996 年 12 月発行

#### 播磨靖夫の思想がわかる！講演録・文献等(別添資料参照)

「アートリンクから生まれる生命の新しいかたち」『アートリンクプロジェクト 2009: 関係のドローイング』144-8,京畿文化財団(2009).

「序章:共同幻想のゆくえ」『生命の樹のある家:進化する NPO、深化する NPO』7-22,財団法人たんぼぼの家(2003).

「障害者アートと人権」『人権の視点から考える 障害者アートと著作権』13-6,日本障害者芸術文化協会(2000).

「『魂の芸術家』たちのアートと生命をおりなす新しい芸術運動」『ABLE ART:魂の芸術家たちの現在』4-7,財団法人たんぼぼの家(1996).